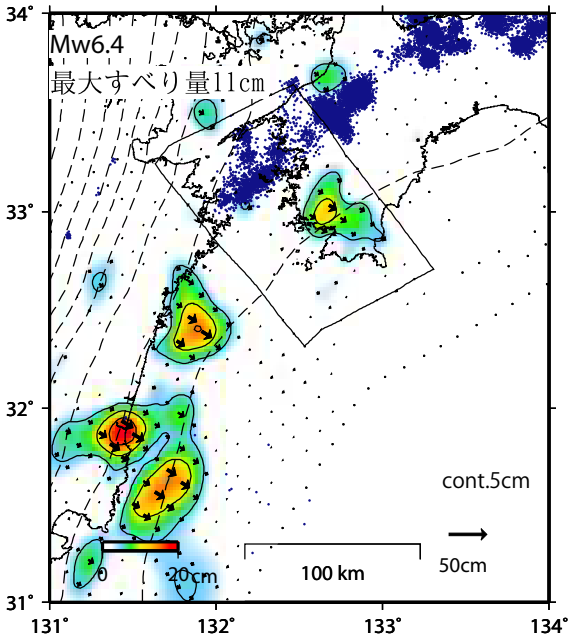
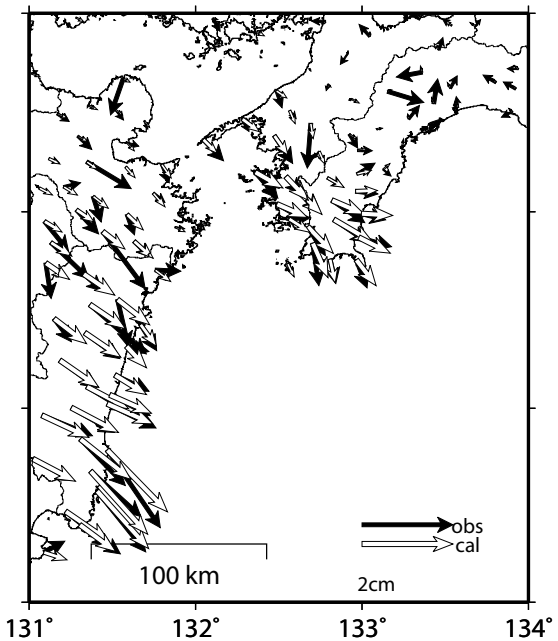
GNSSデータから推定された四国西部の長期的ゆっくりすべり(暫定)

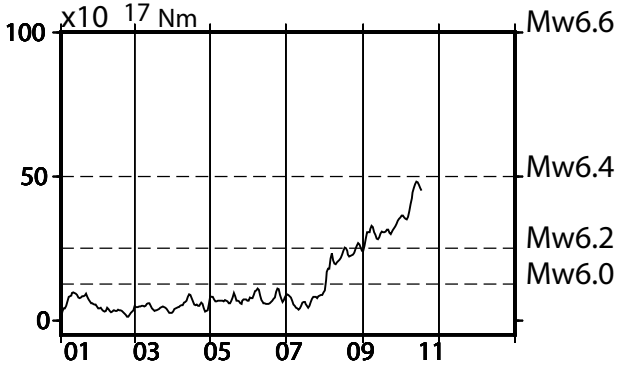
推定すべり分布
(2026-01-01/2026-10-18)



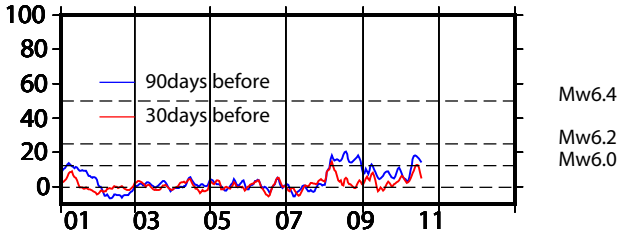
観測値（黒）と計算値（白）の比較
(2026-01-01/2026-10-18)



モーメント*時系列（試算）



モーメント変化量の時間変化(30日間及び90日間)



Mw及び最大すべり量はプレート面に沿って評価した値を記載。
すべり量（カラー）及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示す。
推定したすべり量が標準偏差(σ)の３倍以上のグリッドを黒色で表示している。

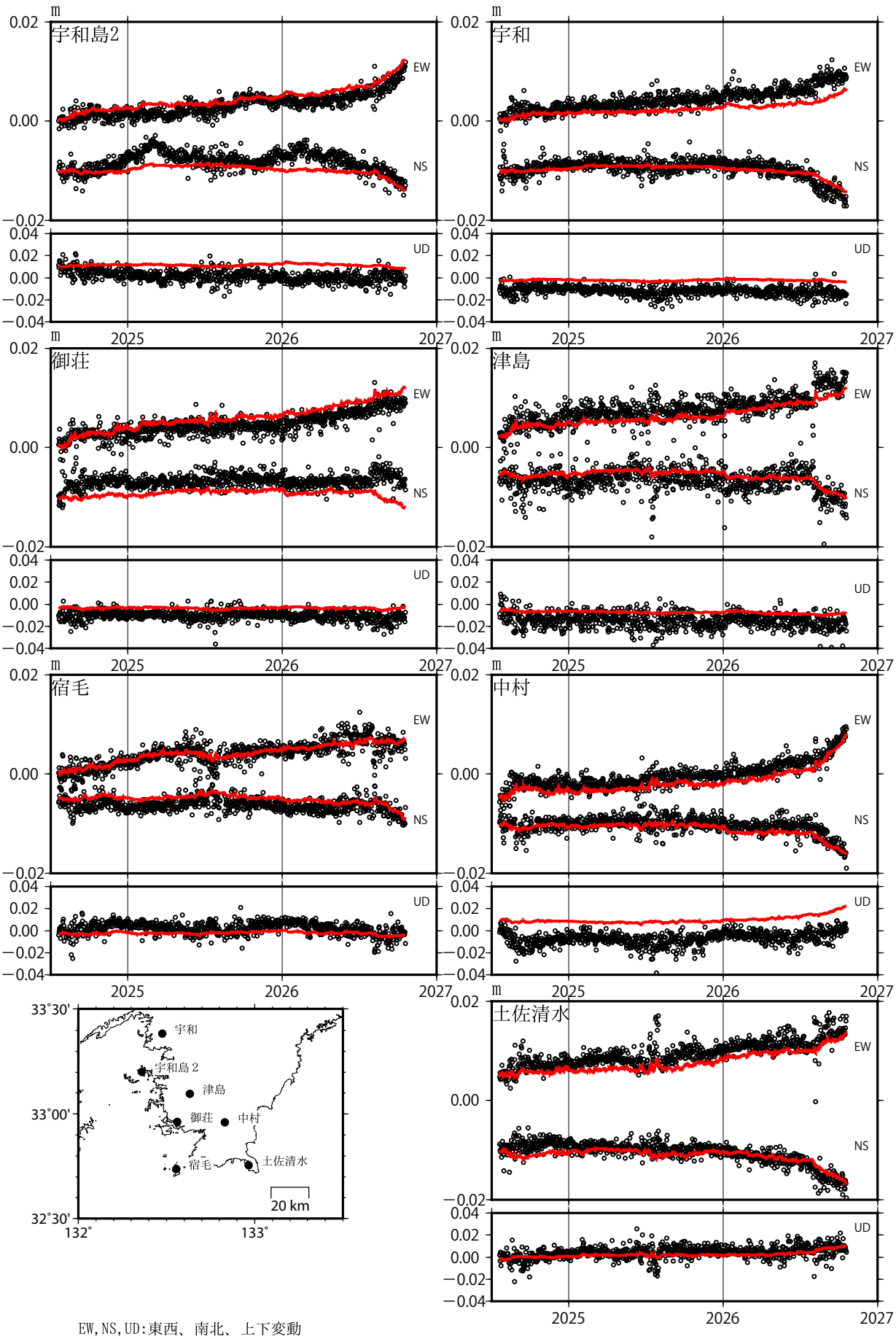
使用データ:GEONETによる日々の座標値(F5.1解、R5.1解)
　　F5.1解(2024-07-20/　2026-10-03)+R5.1解　(2026-10-04/2026-10-18)
トレンド期間:2006-01-01/2009-01-01（年周・半年周成分は補正なし）
日向灘附近:2007-10-01/2009-03-01
モーメント計算範囲:左図の黒枠内側
観測値:カルマンフィルターで平滑化した値
黒破線:フィリピン海プレート上面の等深線(Hirose et al.,2008)
すべり方向:プレートの沈み込み方向に拘束
青丸:低周波地震（気象庁一元化震源）（期間:2024-08-06/2026-10-18）
固定局:三隅

＊電子基準点の保守等による変動は補正済み
＊豊後水道の地震(2024-04-17,M6.6)の地殻変動を除去している。
＊日向灘の地震(2024-08-08,M7.1)の地震時変動を除去している。
＊日向灘の地震(2025-01-13,M6.6)の地震時変動を除去している。
＊令和８年熊本地震の地殻変動を除去している。
＊平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震及び平成28年(2016年)熊本地震の粘弾性変形は補正している(Suito,2017;水藤,2017)。
＊共通誤差成分を推定している。
＊モーメント:断層運動のエネルギーの目安となる量。

国土地理院

四国西部の観測点の座標時系列（黒丸）と計算値（赤線）

時間依存のインバージョン



EW,NS,UD:東西、南北、上下変動

国土地理院